

図書館へようこそ！ ～まず、明学図書館で探そう～

図書館ではみなさんの学びに必要な資料を収集しています。まずは大学図書館の資料を利用しましょう。
図書・AV 資料はジャンル(テーマ)ごとに並んでいます。

〈経済・国際経営学関係〉

302 各国事情	333 経済政策・国際経済	337 貨幣・通貨	350 統計
670 商業	675 マーケティング	678 貿易	689 観光事業

◆参考図書

読書のためではなく、調べるための図書です。言葉の定義を調べたり、特定の事項や事実の確認をするときに使います。
本の背に「館内」という赤いラベルが貼ってあるものは館内利用になります。

■辞書・事典

テーマの概要を知るために使しましょう。事典では事象、事件、人物、著作や国など事柄の全体像や要点がわかり、
理解を深められます。さらに専門事典をあたれば、その分野において、その用語や概念がどういう意味を持つのか、
背景や歴史を含めて解説しています。配架場所は主に 5F 参考図書コーナーです。



『現代用語の基礎知識』 『広辞苑』 『契約・法律用語英和辞典』 『経済学事典』 『MBA 国際マネジメント事典』
『日経キーワード』 『英文会計用語辞典』 『現代経営学辞典』 『英和国際金融経済辞典』 『地球環境学事典』

■白書、年鑑、調査統計

基本的に毎年新しいものが刊行されます。レポートなどで数値的な裏付けが必要な場合もあります。説得力を増すためにも、公的調
査結果などを活用しましょう。配架場所は OPAC (図書館蔵書検索システム) で確認しましょう。

『世界経済・社会統計』 『世界開発報告』 『資源エネルギー年鑑』 『ジェトロ世界貿易投資報告』
『アジア動向年報』 『環境問題総合データブック』 『開発協力白書』 『経済財政白書』 『文部科学白書』

■データベース「JapanKnowledge Lib」(ジャパナレッジ リブ)

大学生にとって基本となる辞書・事典データベース。30 以上のコンテンツの横断検索ができます。収録内容は随時更新、関連項目へ
のリンクや参考文献リストなど便利機能が満載です。

<アクセス> 図書館ウェブサイト > 蔵書・情報検索 > 目的別・分野別・A-Z
MyLibrary > サブジェクトゲートウェイ > 目的別・分野別・A-Z

情報センターに SSL-VPN
申請すれば、自宅からでも
アクセスできます。

◆一般図書 [3F/4F 和書一般・6F/7F 洋書一般]

学習に必要な一般的な図書で館外貸出利用ができます。配架場所が「B2」「北」となっている資料は地下の閉架書庫に
ありますので、カウンターへ請求してください。横浜図書館と違い、地下書庫へは学生の方は入れません。

■授業関連図書

教員が授業の参考に読むように指定した本です。白金では 2F にコーナーがあります。OPAC の授業関連図書リストを見ると、教員がど
の授業で何の本を指定しているか一覧で確認できます。コーナーの本は貸出できませんが同じ本が一般書架にあれば借りられます。

◆AV 資料 *館内利用 [2F ハイブリッド AV コーナー]

CD、DVD、ビデオなどの音声や映像資料です。ハイブリッド AV コーナーで視聴できます。

◆雑誌 *館内利用 [5F 和雑誌・6F 洋雑誌 K-Z・7F 洋雑誌 A-J]

雑誌名のアルファベット順に並んでいます(週刊や月刊などの刊行頻度は外す)。前年以前に発行されたバックナンバ
ーは 5~7 階のバックナンバー架または地下書庫にあります。雑誌名には必ずしもその分野に関する単語が入っている
わけではありません。雑誌を探すときは、図書館の雑誌の書架を直接目で見て探す方法も試してみてください。下記は
白金にある国際経営学関係の主な雑誌です。

『経済学史研究』 『アジア経済』 『週刊東洋経済』 『週刊エコノミスト』 『週刊ダイヤモンド』 『日経ビジネス』
『国際ビジネス研究』 『経済政策ジャーナル』 『貿易と関税』 『海外事情』

■学術雑誌

雑誌の中でも学術論文が掲載されるものを「学術雑誌」といいます。大学では学術雑誌の利用が必要です。ある問題を論じる際には、
それまでに論じられた文献=先行研究を押さえることが、問題の整理や自分の主張の説得力につながるからです。学術論文は一定の
ルールで執筆されるので、レポートや論文を書く際に構成や参考文献の記載などの体裁を参考にすることもできます。大学や研究機
関が発行する「紀要」も学術雑誌に含まれます。